

平成30年度 第2回学校関係者評価報告書

鳥取県立境港総合技術高等学校

校長 小澤 敏 正

評 価 日	平成31年2月25日(月)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について		
(1) 重点目標の達成状況		
①規律ある生活習慣の確立は、難しい課題ではあると思うが、学校やインターンシップ等で見る姿や遅刻者や問題行動の減少から判断すると、学校での評価をもっとあげても良いのではないかと考える。粘り強く今後も指導して欲しい。		①生徒の状況を把握し、全職員で目標達成に向けて取り組む。
②地域との連携は、とてもよくやっている。公民館や諸施設との連携は大変よい取組である。公民館でボランティアを今後も募集するので、是非、協力して地域の活性化の一躍を担って欲しい。		②地域との連携を更に深め、地域活動に貢献できる人材育成を柱に進める。
③保育園との交流はお互いに豊かな心を育み良い面が伸びる。年々生徒の表情が良くなっている。また、保育園と合同の津波避難訓練も高く評価している。		③各科の特徴を生かした交流を今後も継続・推進していく。
(2) 説明・公表について		
①学校の研究活動の成果が発表される課題研究発表会を参観した。各科の特色を生かした取組の発表は昨年度よりも良かったが、もう少し突っ込んだ探求を期待したい。		①地域や関係企業の方に多く参観いただき、学校への理解をより深めていただけるように、実施日や発表内容を検討する。
2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について		
①多くの事業が行われ、その取組の様子が、新聞やテレビでたくさん報道されている。地域に根ざした専門高校として各事業を有効に活用し、地域の人材育成、活性化に大いに貢献して欲しい。		①地域との連携や特色のある教育実践をメディアを通して発信し、学校教育の活性化を図る。
3. 取組改善のための提言		
①学科間連携は、異分野を認知・理解する上で有益であるので、今後も継続・充実を図ってほしい。		①科連携を生かした学習を通して、教育の充実を図る。
②企業や事業所との連携は有意義な取組であるので、継続して充実した取組として欲しい。		②インターンシップや事業所見学の事前事後指導を充実させ、職業観・勤労観を育成する。
③学校評価委員が学校の日常の様子を知り、適切な評価ができるよう、授業を参観したい。		②学校公開週間や学校評価委員会開催日に授業を参観できる機会を設定する。